

暮らすまちを道から考える

ワークショップ「歩いて楽しいみちづくり鎌ヶ谷」

略称は「ATM鎌ヶ谷」。道について考えているワークショップの名称だ。対象となる道路は東武野田線鎌ヶ谷駅西口駅前と三本の市道（地図参照）。歩行者にとって安全でにぎわいのある通りにしようと、地域住民と鎌ヶ谷市が協働で活動している。

きっかけは平成十五年。「鎌ヶ谷駅西口にぎわい」という地域住民と市の共通の思いから住民の理解を得て、対象道路を国土交通省の施策「くらしのみちゾーン」に応募し登録されたことが、ATM鎌ヶ谷の始まりだった。

「くらしのみちゾーン」とは、周りを主要道路に囲まれている地区において、道路を歩行者や自転車優先としたり、植栽などで環境を整備したりして、歩行者の安全確保や快適なまちづくりを目指す取り組み。大規模な道路の拡幅などは行わず、現状の道路の中でいかに歩行者や暮らす人にとって利用しやすい道にするかを考えていくものだ。

これまでATM鎌ヶ谷で

は、ほかの事例の視察や交通量の調査などを行いながら意見をまとめ、平成十八年一月に整備構想を策定した。現在はそれを基に、市が少しずつ道路整備を進めている段階だ。

普通はここでワークショップ解散となるのだけれど、ATM鎌ヶ谷は現在も活動中。事務局を務める鎌ヶ谷駅前自治会・東武鎌ヶ谷駅前商店街振興組合・NPO法人KAO（カオ）の会の代表者と市の都市整備課を中心に、参加する地域住民らが今後必要になる整備後の管理、活用のために今できることを話し合い、実行に移している。主なテーマに違法駐輪対策・美化活動・情報発信などが挙げられ、住民目線でさま

ざまな意見が飛び出す。市も同席しているので、できることと難しいことがあることと分かるのも特長だろう。地域住民と市が一緒になって作り上げていこうという雰囲気だ。

事務局の皆さんは、活動が時を経ても形を変えながら残してほしいと話す。「特に未来を担う若い人にもっと参加してもらいたいですね」。活動に興味がある人なら誰でも参加できるとい

う。ワークショップ開催日は、ホームページやATM鎌ヶ谷が発行する情報紙「ATM通信」で告知される。また整備構想はホームページで閲覧で



違法駐輪について、歩行者の邪魔にならない駐輪方法を模索中



※問い合わせ
047(445)1141
鎌ヶ谷市都市建設部 都市整備課まちづくり室
鎌ヶ谷市ホームページ
<http://www.city.kamagaya.chiba.jp/>
(スぺシャルメニュー内のATM鎌ヶ谷のページへ)